

700 号記念号

約 13 年前の 2004 年 7 月 31 日にやましろ里山の会ニュース第 1 号が発行されました。この日から会員さんへの自宅配布を開始していただきました。パソコンクラブの皆さんにはホームページに掲載が開始されました。メール配信が始まったのです。それぞれがこの間 700 回約 13 年半にわたって継続いただけてきました。会誌(里山の自然)は半年間の活動報告ですが、毎週の活動結果やご意見そして次週の取組みのお知らせが届けられました。結成 10 年目の画期的な取組みが始まったのです。会員各位の皆様、よくもこれだけ継続出来てきたものだと思います。ここには会員各位を大事にして、「自然を大切に作る仲間の輪を大きくする」活動スローガンがしっかり生かされ、仲間の絆をしっかりとつなぎとめていただけてきました。里山の会の誇る取り組みです。関係者のご努力に心からお礼と感謝を申し上げます。そしてこれを機にさらなる躍進を誓い合うものです。

約 14 年といえば生まれて義務教育を終えたところで、人生で言えば思春期です。結成 21 年といえば大人と認められたパリパリの青春時代真っ盛りの未来にはばたく夢いっぱい年頃でもあります。しかし、構成している会員諸氏の多くが高齢化となって、若いものの時代と言い始めてご隠居気分になり落ち込む声を耳にします。しかし、まだまだ若くこれからが青春時代 夢あふれるときなのです。河川協力団体としても今取り組みが始まったところです。念願の聖牛を木津川に設置したのも 12 月のことで、今生まれたばかりです。竹蛇籠の設置でもやっと 3 年目を迎えたところです。

700 号発刊記念を通過点として、さらに飛躍目指して「自然を大切に作る仲間の輪を大きくする」取組みに頑張っていきましょう。2017 年も数日で幕を閉じますが、輝かしい新年 2018 年をさらに飛躍の年にしていましょう。未来は私たちに里山の会のためにあるのだと週刊ニュースは呼びかけているのではないのでしょうか。

発行にかかわってくださっているメンバー ホームページとメール発信・坂田一郎 白木弘一 伊藤千恵子 手渡し人・山本雅晃 森島保 大村幸正 伊藤千恵子 森幾久子 原稿作成・山村武正 原稿修正校正・山本雅晃 金田徹

● ナラ枯れ木の運び出し作業 16 日 18 日 3 月に伐採し 6 月に玉切りを行って夏が過ぎました。このまま放置することはよくないので、草内の意倉庫に運ぶことにしました。いずれも直径 30 cm はあり、かなり重いものです。二又のものは特に重くて大変でした。16 日の土曜日は 5 人が総がかりで軽トラック 5 台分を運搬し、18 日の月曜日には 6 人が集まったので、8 台分を運び出し、太くて重いものはかなり運び出すことができました。播川さんや深田さんという事務局会議でも年齢を重ねた皆さんが特に頑張ってくださいました。18 日は当てにしていたもう一台の軽トラックが使えなくて朝から夕方 3 時までひっきりなしで運んでいただきました。ご苦勞様でした

そこで人数が余りますので、6 号 7 号 8 号 10 号 11 号 12 号地の草を刈取りにも取り組みすべてが刈りとれて、すっかりよく手入れの行きとどいた田んぼに生まれ変わりました。いずれの所もイノシシが縦横無尽に暴れ込み、まるでトラクターを入れた状態になっているところもありました。これでお正月を迎えられる整頓ができました。ご苦勞様でした。

● 乙訓の自然を守る会総会で特別報告 17 日 乙訓の自然を守る会から 2 か月前に活動紹介を行ってほしいとお話があった、気楽に返事しておきました。竹蛇籠づくりがこれほど難しく時間がかかるものと考えておらず、台風の襲来がこれほど遅くやってくるとは予想もしていませんでした。いったん増水すれば思うように乾かず作業が長時間ストップするということは想定外でした。忙しさからすっかり準備に時間が取れず、気が付いたのが中聖牛が完成した翌日で、即京都府環境フェスタの準備が始まり、ミニステージの発表原稿の作成にてんやわんやとなり、大変でした。そして私が発表しなければならない発表原稿作成の時間は殆どなくさらに 3 日間で作り上げなければなりません。前日に作り直すことにして、これまで物は二番目にして、最初に発表する原稿を大急ぎで前日の夜に急遽一夜漬けで作成することになりました。とにかくその場その場でしのぎ続けた 12 月の中旬でした。何とか約 1 時間の発表を終えて、ほっと一息ついたところです。すると月曜日はナラ枯れ木の運び出し、2 日は除草作業が続き当てにしていたハンマーモアが故障して能率がガタ落ち、中途半端な作業となりました。そして水曜日事務局会議には 10 大ニュースの候補項目の提示をしておかなければなりませんので、火曜の夜も徹夜で資料づくりでした。マラソンの作業の進展も気になる場所でした。そして水曜日の事務局会議後では 12 月度の木津川希少植物の植生調査という激務の連続となったところです。

● 里山農園の年末清掃が進む 今年も残り 10 日となりました。私は大晦日までこれまでにない人生で一番バタバタ

が続きで、時間がなくて大弱りです。本日(20日)は12月度の木津川の希少植物調査(21ヵ所)を皆さんのご協力で何とか終わることができました。気になるマラソン大会の取組みのうち里山の会に要請されている事前事後の作業内容が決まっていなくて大変気になります。21日木曜日は週刊ニュース700号記念号の発行で、午後に少しゆとりができます。しかし木津川出張所への提出文書作成が待ったなしです。22日金曜日は亀の瀬資料館見学があり、23日土曜日はオオムラサキの観察会。午後にカスミサンショウウオの検討会、合間を見て翌日のもち米の洗いや用具の点検と準備待っています。24日の日曜日は餅つきが午前中 午後は注連縄づくりで、会場の後始末や借用備品の返却がまた大変です。25日月曜日は尾根筋ハイキングコースの年末清掃点検です。そして午後2時には木津川保全利用委員会がキララホールで開かれます。本当に毎日毎日これだけ用事が連続し気が休まる間がありません。まさに年末の追い込みに入っています。26日は事務局会議野レジメ(一週間のまとめ整理が伴います)ニュース項目作りです。

●20日の事務局会議では今年の漢字は北と発表されましたが、里山の会では「竹」とであると決まりました。皆様のご家庭ではどんな文字であらわされるでしょうか。決まれば理由もつけてご連絡ください お便りを待っています

●2017年を振り返り十大ニュースの選定項目を選ぶ50項目 みなさんはどれを選びますか ご投票ください 必着12月26日

2017年里山の会10大ニュース 候補項目

① カスミサンショウウオ 調査開始 福山君 1月7日、② カスミサンショウウオ 10年ぶりに成体発見 1月22日 ③ ゲート落下事故発生 2月1日、④ 京都放送 カスミサンショウウオで生出演 2月17日、⑤ 自然環境保全京都ネットワーク 結成 2月25日、⑥ カラー印刷機更新購入 3月13日、⑦ ナラ枯れ木伐採 3月25日、⑧ 夏原グラント活動資金申請プレゼン 3月27日、⑨ 親子花見乗船体験 474人 4月2日、⑩ 雲ヶ畑自然観察会 4月30日 ⑪ 会誌42号 期日遅れ 5月5日、12 タヌキマメ除草作業実施 5月8日、⑬ 地域力交付金96,4万円決定 5月9日、⑭ 白波瀬氏淀川河川事務所所長 話し合い 5月12日、⑮ 竹蛇籠生き物調査 11人 5月21日、⑯ ササユリ開花せず 従来のもの 5月31日 ⑰ 蛍のタベ 里山音楽会 6月10日、⑱ ナラ枯れ木 玉切り作業 28日完了 6月18日、⑲ 京の七夕 用 竹笹納入 京都商工会議所 6月27日、⑳ 河川協力団体 資料提出 6月30日、㉑ オオムラサキ観察会 大村氏熱中症 7月1日、㉒ 三川合流域ヤブカンゾウ大群生 7月2日、㉓ 魚取りチラシ プリントバック 7月3日、㉔ 夏原グラント現地視察 7月8日、カスミサンショウウオ京都府京田辺市視察 7月15日、㉖ 里山農園 夜の生き物調査会 23人 7月15日、㉗ 親子で遊ぼう学ぼう魚とり 82人 7月16日、親子で遊ぼう学ぼう八幡市域 応募者0 7月22日、㉙ 木津川保全管理植物 番号取付107か所 7月29日、㉚ 親子で遊ぼう学ぼう魚とり 233匹 7月24日、㉛ 京都こどもの水辺 8月19日、㉜ 親子で遊ぼう学ぼう魚とり 229匹 8月20日、㉝ 竹蛇籠施策実施 8月22日、㉞ 中聖牛設置場所調査 8月26日、㉟ 竹蛇籠製作に着手 9月4日、㊱ 河川協力団体 見積書提出 9月6日、㊲ 自力で竹蛇籠製作完成 9月20日、㊳ 竹蛇籠製作研究学習会 7本完成 9月30日 10月1日、㊴ 城陽市緑化フェスタ 綿菓子21300円 松かさツリー24000円 10月1日、㊵ 蛇籠製作基本技術確定 福井 10月2日、㊶ 蛇籠製作研究学習会 カレー 23完成 10月7・8日、㊷ 台風21号来襲 何もかも予定狂う 10月23日、㊸ イヌナズナ除草作業開始 木津川希少植物植生調査 11月6日、㊹ 木津川希少種植生調査11月度実施 22か所 11月9日、㊺ 中聖牛組立 原小組7人 33人 36人 3基 11月11日 12日、㊻ 先生来所指導多数 年間㊼ 木津川希少植物植生 調査 除草完了 11月22日 ㊽ 中聖牛設置・竣工を祝う会 3基 35人 12月2日、㊾ 1953年9月木津川南山城村大河原に設置写真発見 12月14日、㊿ 週刊ニュース700号に到達 12月21日、㊽ 木津川マラソン実行委員長の若返りで山村武正氏勇退 ㊽ 若手河川レンジャー2名誕生 中西佳代さん 村上ゆいさん ㊽ 桜谷先生ご指導多数回 ㊽ 各種展示発表会 大成功竹蛇籠展示 ㊽ 2000回の探しで一匹と松井先生、自然でのプレイは無料と西野先生が力説。以上候補が上がりました。皆さんもお気づきの出来事がありましたら ご提案をお願いします。次回今年度最終事務局会議で決定させていただきます。メールやはがきで送ってください

● 今年の年末は私の人生で最も忙しい年末になります。それだけ充実したいいい年だったのでしょ。はやりの風邪にも気を付けて年末年初を乗り切ってゆきましょう。年初早々には恒例の七草摘みが待っています。成功させましょう。次回701号は十大ニュースの発表です、一年の締めくくりとなります。忙しさを述べて年末の予定をお知らせしました。ご参考になしてください。